

会 議 録

会 議 名	令和元年度（2019年度）第1回八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	
日 時	令和元年（2019年）5月28日（火）午前10時30分～11時45分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 702会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁会長、大宝院清孝副会長、荒井容子委員、石井淳委員、大島達也委員、岡崎理香委員、加藤悟委員、菅野周平委員、鈴木紀幸委員、田上美穂委員、野中真理子委員、町田理恵委員、松井優佳委員、松野美樹委員、三入重夫委員、森直美委員、山本由佳理委員 (会長、副会長、以下五十音順)
	関連所管	鳥越大横保健福祉センター館長
	事務局	小俣子ども家庭部長、澤田子どものしあわせ課長、東郷子ども家庭支援センター館長、福田子育て支援課長、小池児童青少年課長、小野主査、井垣主査、田中主査、吉岡主査他
欠席者氏名	石田健太郎委員、内野彰裕委員、眞保智子委員、廣元冽委員、三浦誠委員、渡辺恭秀委員	
議 題	開会 1 委員の変更及び臨時委員の紹介 2 計画の改定について 議事 1 計画策定（若者）部会設置の提案 2 分科会の年間スケジュール 3 第3次八王子市子ども育成計画 平成30年度（2018年度）取組状況の点検及び評価について 報告 1 保育施設及び学童保育所の受け入れ状況について 2 子ども☆ミライ会議の開催予定について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	

配付資料名	別紙のとおり
会議の内容	別紙のとおり
会議録署名人	令和元年（2019年）6月18日 三入 重夫

(別紙) 配付資料

- (仮称) 子ども・若者育成支援計画の概要について
- 計画策定(若者)部会の設置について
- 年間スケジュール
- 第3次子ども育成計画 点検・評価報告書案(平成30年度分)
- 保育施設及び学童保育所の受け入れ状況について
- 子ども☆ミライ会議の開催予定について

(別紙) 会議の内容

【澤田子どものしあわせ課長】

ただいまより、令和元年度第 1 回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を始めます。計画に若者施策を追加することとし、本分科会でも若者施策について審議いただくため、今回から臨時委員を追加しました。そのため、臨時委員を含め委員総数は 23 名になり、本日は開催要件を満たしております。

はじめに委員の変更と、臨時委員の紹介をいたします。八王子市立中学校 P T A 連合会の三浦佐知子委員が森直美委員に変更となりました。

次に、臨時委員の皆さんです。市民委員の加藤悟委員、特定非営利活動法人青少年生活自立援助センターの菅野周平委員、八王子 BBS 会の松井優佳委員、八王子地区保護司会の三入重夫委員です。東京都立八王子拓真高等学校の大島達也委員は遅れての参加となります。法政大学の眞保智子委員と公立中学校長会の渡辺恭秀委員は、本日は欠席です。以上が臨時委員となります。

それでは新しい委員もいらっしゃることから、現行計画の策定経過や理念について、子ども家庭部長より、開会の御挨拶も兼ねて御説明申しあげます。

【小俣子ども家庭部長】

4 月より子ども家庭部長になりました小俣でございます。改めてよろしくお願いたします。計画改定に際し、今後どのように進めていくかお話をさせていただきます。

自己紹介も兼ねますが、子ども家庭部の前は教育委員会で学校教育政策課長を務めており、教育振興基本計画の改定を担当していました。現行の子ども育成計画は、子どもや保護者に対し何ができるか、どのような支援が必要か、教育委員会と子ども家庭部が連携しながら取り組んだ計画です。少子化の進行や、核家族化・地域のコミュニティの変化等が子どもたちに与える影響等を課題とし、「みんなで育てる みんなが育つ はちおうじ」を基本理念に、「子どもにやさしいまち・子育てしやすいまち」の実現と「子育てプロモーションの推進」の 2 つを現行計画の特徴としております。子どもたちに八王子を好きになってもらい、住み続けたいと思ってもらえるよう、地域で子どもを育てるという視点で、行政の取組について発信してまいりました。このように、計画に基づき 5 年間取り組んでまいりまして、今年度で計画期間が満了し、中間の見直しということになります。

現在、八王子市でも出生数が減少しており、若者支援という新たな視点も出てきました。そのような環境の変化を把握しつつ、計画の見直しをしてまいります。新たな施策、継続すべき点、拡充・充実すべき点、また、常態化しており計画への掲載が必要ないもの、施策・事業として目標を達成したものは廃止にする等、御検討をいただきたいと考えております。

また、新たに若者支援施策を追加するわけですが、現行計画の基本方針 1～4 との関わ

りは深く、その点を踏まえて御意見いただければと考えております。対象年齢がこれまで18歳まででしたが、若者を含めると30歳まで、施策によっては40歳までが対象として広がります。子ども施策についても、ネットワークの構築、連携が大切であると考えており、教育、福祉、医療等様々な分野と関わりがあります。委員の皆様には多方面からの横断的な視点、子ども家庭部だけではない視点で御意見をいただけますようよろしくお願いいたします。

来年度からすぐに進められる施策・事業だけではなく、次の5年間の計画期間中に検討し推進していくもの、5年間に検討し実施ができればしていくものなども計画に盛り込んでいかなくてはならないと考えておりますので、そういった視点でも御意見をお願いいたします。

策定期間が短く申し訳ありませんが、子ども・若者は次の100年を担う大切な存在であることを御認識いただき、それぞれのお立場から御審議いただけたらと思います。

【澤田子どものしあわせ課長】

それでは、前回の計画策定にも携わっていただいた井上会長からも、一言お願いいたします。

【井上会長】

子ども家庭部長のお話にもありましたように、今回新たに、子ども・若者育成支援計画を作っていくということでございます。前は2年間かけて作りましたが、今回は1年未満、正味3か月となりますでしょうか。現計画がベースになるとは言え、新しく若者支援施策も入り、かなり厳しいスケジュールではありますので、委員の皆さんには精力的に取り組んでいただきたいと思います。中核市・八王子市としての計画を作っていくということで、既存の計画の横流しというわけにまいませんし、少子化に立ち向かう八王子市として、子どもから若者期の支援を私たちがどう考えるか問われます。委員の皆さんには、大変な節目に携わっていただくことになろうかと思えます。

昨年度答申として出しました基本理念「みんなで育てる みんなが育つ わたしたちがミライにつなぐ はちおうじ」は、市でもオーソライズされておりますので、これに基づいて御議論いただきます。ベースにあるのは、子ども・若者の権利擁護ですが、国連などが定める持続可能な社会をどうつくるか、八王子版SDGsを踏まえるということを基本理念に込めております。子ども・若者育成支援計画は、持続可能な社会を考える上での一番の基盤になりますので、その視点を盛り込んでいただきたいと思います。

私たちがこれまで大事にしてきたこと、もう一つの柱が、子ども・若者の参画をどう実現するかであります。現計画の中にも位置付けておりますが、今回も同じように、これからの5年間、八王子の子ども・若者がまちづくりに参画し、自分のまちという意識を強く持ってもらえるようにしたいと思いますので、子ども期、若者期それぞれにおいての参画についても御議論いただき、計画に反映していただくようお願いします。「我がまち」という意識がなければ、このまちは選ばれませんので、若い世代がこのまちに残っ

てくれるよう、また、子育て世代が「八王子で子育てしたい」と思ってくれるよう御協力をお願いいたします。ともに精力的に頑張ってもらいたいと思います。

【澤田子どものしあわせ課長】

それでは議題に入ってもらいます。ここからの進行は会長にお願いいたします。

【井上会長】

計画策定（若者）部会の設置についてですが、新たな計画策定にあたり、専門部会を設置したいとのことですので、事務局から御提案をお願いいたします。

【澤田子どものしあわせ課長】

（資料「（仮称）子ども・若者育成支援計画の概要について」「計画策定（若者）部会の設置について」説明）

【井上会長】

計画策定（若者）部会の設置につきまして、御意見ありますでしょうか。承認でよろしいでしょうか。

（承認）

【井上会長】

では部会設置については承認ということで、よろしくをお願いいたします。

次に進め方についてですが、正式な部会はスケジュール表の資料のとおりですが、これだけでは間に合わないのではないかと考えております。前回策定時はこれ以外にも作業部会を設けており、先ほど開催された計画策定（子ども）部会では、今回も作業部会を設け、ボランティアで集まって作業していくことが承認されました。

計画策定（若者）部会の委員の皆さんにも、連続する施策などでは意見交換をお願いしたく、作業部会開催の時にはお声がけをしますので、可能な範囲で構いませんので御参加いただけたらと思います。あわせて、計画策定（若者）部会の委員の皆さんにお願いですが、子ども・若者支援推進法あるいは貧困対策推進法の内容をそのまま計画に入れるのではなく、八王子としての若者支援、八王子の特徴を踏まえた検討をお願いします。その点は、前回の計画策定時も非常に意識した点で、八王子が選ばれるよう、八王子らしさをいかした計画としました。先ほども申しあげたように、人口減少が始まっている中で、八王子を持続可能な社会、選んでもらえるまちにしたいと考えております。子ども部会、若者部会、ともに協力し合って進めてまいりたいと思います。

それでは、年間スケジュールについて説明をお願いします。

【澤田子どものしあわせ課長】

（資料「年間スケジュール」について説明）

【井上会長】

スケジュールについて御質問ありますでしょうか。

本分科会は正式な決定権を持つ委員会となり、議事録も公開されます。これ以外に検討作業をしたいというのが、先ほどの作業部会開催のお願いです。認可部会の委員の皆様

さんにも来ていただき、保育ガイドラインの話などができればと思います。では次に、点検評価についてお願いします。

【澤田子どものしあわせ課長】

(資料「第3次子ども育成計画 点検・評価報告書案(平成30年度分)」基本施策1～5について説明)

【井上会長】

現段階では、委員の皆さんには大まかな質問をしていただき、次回6月5日までにまとめていきたいと思います。御意見をお願いいたします。

【岡崎委員】

昨年度は自己評価Aが少なく、もっと積極的につけても良いのではないかと申しあげましたが、今年はずいぶんA評価が多いという印象です。7ページの施策8ですが、指標をみると「保育ガイドライン 未実施」でもB評価(計画・目標どおりに達成できた)になるのでしょうか。

【澤田子どものしあわせ課長】

保育ガイドラインの策定は未実施ですが、公立保育園の保育の質のガイドラインを策定した点、教育・保育の質の向上のため、保育従事者に研修を実施した点を総合的に判断し、B評価としたところです。

【井上会長】

昨年度との比較もしながら、今のように意見を聞きながらまとめていきたいと思っております。

【岡崎委員】

施策16の指標については、年々参加地区数が減少しているにも関わらず、A評価というのはなぜなのでしょう。

【事務局】

昨年度よりは減りましたが平成27年の策定時と比較すると増加しており、目標値も超えていますのでA評価としております。

【井上会長】

分かりました。本日の分科会だけで時間が少なく、すべてを評価するのは難しそうですね。計画策定はこの評価がベースとなりますので、委員の皆さんには資料を丁寧に見ていただき、事務局に御意見の送付をお願いいたします。それを基に次回議論する時間を設けたいと思います。若者支援に関しましても、この評価内容を参考にさせていただきたいと思います。

それでは、待機児童の状況について報告をお願いいたします。

【澤田子どものしあわせ課長】

(資料「保育施設及び学童保育所の受け入れ状況について」説明)

【井上会長】

一番のポイントは1ページ目ですが、少子化の傾向が急激に進んでいることです。児童数も、7ページを見ますと、平成26、27年をピークに減っており、これはそのまま若者の減少にもつながっていきます。八王子は大学が多くあるため若者が多いですが、八王子で生まれ育った子どもたちの状況を読み取っていく必要があります。待機児童をなくすことと、人口が減ることは別次元の話ですので、この点についても評価をし、どれだけ魅力のある保育・幼児教育を提供するか等、新たな計画にどう反映していくか検討が必要です。

素朴な疑問ですが、エリアによっては1~2名の待機児童数ですが、こちらはどうかならないのでしょうか。

【澤田子どものしあわせ課長】

この数値は、特定の保育園じゃなければ入園しないという方は除いております。それ以外で、八王子全体としては受入れが可能ですが、あまりにも遠い園には通えないという方が待機児童として残っている状況です。各園にご協力をいただき、弾力的な運用も行ったうえで、どうしても待機児童となった人数です。

【井上会長】

セーフティネットを考えるうえで、乳幼児期の子どもがどれくらい保育施設・幼稚園に入っていて、これに漏れている子どもがどれほどか、把握をお願いします。虐待予防の観点から、どこにもつながりがない子どもは、行政から何らかのアプローチが必要と思います。そのままニートにつながることもあるかもしれませんし、家族の状況によってどのような支援が必要か、検討していくことになります。

では、子ども☆ミライ会議について御報告をお願いします。

【小池児童青少年課長】

(資料「子ども☆ミライ会議の開催予定について」説明)

この事業は、市の「子どもすこやか宣言」推進事業の一環として実施しているもので、子どもの意見や声を受け止め、市政に反映することを目的としております。一昨年開催しました「子どもミライフォーラム」において、まちづくりについての5つの提言が発表されました。今年度はこの提言に基づき、これからの八王子のまちづくりについて考える予定です。スケジュールとしましては、6月23日に第1回ワークショップ、7月28日に第2回目のワークショップを行い、子どもたちの意見・提言をまとめ、8月25日の本番で発表いたします。8月25日の本番やワークショップには、委員の皆さんにぜひお越しいただけたらと思います。

子ども企画委員は小学5年生から高校生までの年齢を対象とし、今日現在で15名の申込みがございました。あわせて、チラシ裏面にある学生リーダー、アドバイザーを募集しております。こちらは現在3名ですので、積極的に募集を進めていきます。

25日は委員と子どもたちとの意見交換の時間も設けますので、御参加をよろしく願います。

【井上会長】

学生リーダーや子どもたちの意見が聴ける機会となりますので、皆様にはぜひ御予定をお願いいたします。ほかに、事務局からありますか。

【澤田子どものしあわせ課長】

今回は6月5日（水）に分科会を開催いたします。資料は事前に送付いたします。

【井上会長】

それでは本日の分科会はこれで終了いたします。お疲れさまでした。